

甲佐町議会だより



清

流

第136号

平成23年2月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 申村幸男

12月定例会



成人おめでとう！（1月9日成人式）

- 平成22年度各会計補正予算・人事案件・・・・・・・・②
- 論点 Q & A そこが知りたい・・・・・・・・③
- 一般質問6人 ここが聞きたい・・・・・・・・④～⑨
- 子ども議会を終えての感想・・・・・・・・⑩～⑮
- 行政視察研修報告・臨時議会・・・・・・・・⑮～⑯

12月定例会

12月定例会は、10日開会、14日までの実質3日間の審議を行った。案件は、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問案件1件、教育委員会委員の任命に関する同意案件1件、条例案件1件、平成22年度一般会計及び特別会計補正予算案件4件、学校建設等調査特別委員会の報告、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。

なお、一般質問には、6人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

③養護老人ホーム入所措置費
784万3000円

④介護給付・訓練等給付費
1949万6000円

⑤子ども医療費助成金
469万4000円

⑥浄化槽設置整備補助金
300万6000円

⑦町道改良工事費
7900万円

⑧町営住宅建設関係事業費
7759万円

⑨教育施設整備基金積立金
3000万円

⑩小学校管理費
940万円

一般会計補正予算

2億7402万4000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、52億639万7000円とする補正予算を全会一致で可決した。

主なものとして、

①人材育成基金積立金

450万円

②国税連携構築業務委託料

403万6000円

人権擁護委員候補者の推薦の推薦

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦に係る諮問については、平成17年4月1日から人権擁護委員を務められている、乙女地区麻生原の新田るり子



鎌田 桂一郎氏

学校建設等調査特別委員会の報告

平成20年第3回甲佐町議会定例会において付託された「小学校及び中学



新田 るり子氏

教育委員会委員の任命同意

任期満了に伴う教育委員会委員については、新たに、宮内地区西原の鎌田桂一郎氏を任命することに全会一致で同意した。

氏を適任とすることに全会一致で決定した。

校の建設についての調査の件について、調査結果を報告します。

【審議経過】

レ、音響設備、ベンチ、二階のバルコニーなどへの質問があり、一部見直しの意見も出た。

第5回目も、屋内運動

本委員会は、平成21年10月14日に第1回委員会を開催、委員の互選により委員長に北畑議員、副委員長に緒方議員を選任し、以後、平成22年11月22日まで計8回の調査、審議を重ねてきた。

場の建設に関して協議し、各工事については、なるべく町内業者の参入をお願いしたいという意見や排水対策について、十分考慮してほしいという意見が出た。

第6回目は、甲佐中学

まず、統合甲佐小学校の校舎及び給食センターの建築については、第2回目に、執行部から財源の問題等についての説明があった。

校の改築に関連し、坂谷及び東寒野地区の町有林の現地調査を行った。

第3回目は、ほぼ完成した校舎等の建築現場を視察した。

その結果、町有林の木材を中学校の改築に利用することは、スケジュー

第4回目は、屋内運動場の建設について協議し、予算やスケジュール、渡り廊下、更衣室及びトイ

ルの関係や改築に適した林齢のものが少ない等により、かなり難しいとの認識にいたった。

第7回目は、中学校改築基本構想・基本計画について、執行部より説明

受けた。また、委託業者から校舎等の配置などについて4案の説明があったが、「明るい校舎を」という要望もあり、詳細については、学校及び学校関係者、教育委員、町長部局の課長等を委員とする甲佐中学校改築検討委員会で詰めていきたいとの説明があった。

最後となる第8回目は、校舎等の配置などの説明があり、委員からは、カウンセリング室の配置や耐用年数等についての意見が出、カウンセリング室の配置については、見直しの回答があった。

なお、甲佐中学校の改築については、まだ設計の段階であり、様々な課題も内包していると思われるので、今後においても十分な検討を積極的に行いながら、子どもたちが安心して勉強できる校舎等の建設を実現されるよう切望し、この学校建設等調査特別委員会を平成23年2月末日をもって終結することとした。

ここが知りたい

Q & A



町営住宅建設用地

12月定例会 質疑より

町営住宅建設用地購入について

Q 町営住宅建設用地購入費が計上されている場所。また、単価は妥当な金額か。

A 場所は大字川久保と横田字丸山境内にまたがる土地で、YKK・APエクステリア工場跡地である。

単価については、町の公共用地取得対策委員会で定めている単価である。取得土地面積は、約8000㎡あり、1㎡当たり5000円、緑地また法面については、1㎡当たり470円で購入する。

Q 耕作放棄地解消事業補助金について
耕作放棄地解消事業

業補助金が計上されているが、面積はどれくらいか。
また、町全体でどれくらいの耕作放棄地があるのか。
その解消対策は。

A 今回の耕作放棄地解消事業の対象面積は、1.4haである。

町全体では、田が870ha、畑が815haあり、合計で1685haの農地がある。その1.5%くらいの土地が耕作放棄地と推測される。

現在、土地所有者に対して意向調査を実施している。

農家の皆さんが農地を貸したいのか、売りたいのか、借りたいのかを把握し、農地の利用集積等を進め、少しでも耕作放棄地解消につなげたい。

オストメイト対応トイレについて

Q オストメイト対応トイレ設備緊急整備事業



左側がオストメイト対応トイレ

補助金という県補助金があるがどんなことか。また、今後の計画は。

A 人工肛門、人工膀胱造設者の方々をオストメイトというが、この方々が利用される専用トイレのことである。

現在、生涯学習センターに設置されているが、今回は、「総合保健福祉センター」及び「老人憩いの家」の二か所に設置する。

23年度は、竜野、白旗の福祉ふれあいセンターに計画している。

消火栓の設置について

Q 消防費の中で消火

栓設置工費が計上されているが、現在は地下式か地上式のどちらで整備を図っているのか。

A 基本的には地上式で整備している。場所によっては地上式で設置できないところもある。その場合は、地下式で設置している。

養護老人ホーム入所について

Q 養護老人ホームの入所措置費が予算化されているが、入所者数及び交付金や個人負担金を除いた町独自の措置費はどれくらい支出しているか。

A 甲佐町のほうで入所措置をしているのは、現在40名である。

内訳は、緑川荘に32名、町外の施設に8名入所されている。

町からの措置費として、約9700万円を支出している。

一般質問 と答弁



北畑常博 議員



農業問題について

北畑議員

甲佐町でできる農産物の販路拡大について、個人個人が頑張つて市場辺りと連携をして出荷されているが、町で取りまとめを行つて、お手伝いをするにはできないかお尋ねする。

奥名町長

町としても、現在の農業情勢、就業者の高齢化の問題、その他、様々な農業に対しての問題があり、なかなか解決の糸口を見出すのは難しい状況が続いている。

一つの方法として、3年間の継続事業で行つて

いる特産品開発があるがこれについては、少しでも農家の所得向上につながるればとの思いで始めた事業であり、また、先立って開通した光ブロードバンドについても、加入者を増やすことにより、ユニバーサルな情報伝達手段としての位置づけができると思つている。

農家にとつても、色んな情報収集、あるいは、インターネットによる様々なネット販売網を使うことにより、色んな工夫ができるのではないかとその思いをもつている。

そのような、それぞれに工夫が生きてくるような農業のあり方に結び付けていけたらという思いである。

北畑議員

今年は特に、米が1俵当たり1万円を割り込むというような状況であり、生産者にとっては、機械の購入代金すら払うことができない状態である。

環境問題について

北畑議員

火葬場の耐用年数はとつくに過ぎて、焼却場の耐用年数も近づいていく。

熊本県では、焼却場の捨て泥、廃棄物等の捨て場所がないため、補助金を出してでも作りたいとのことであり、土地などを寄附して第3セクター的に建設する方法もある。町も、少ない経費で、本当に環境、自然に恵まれた施設ができるようお願いしたい。

学校問題について

北畑議員

乙女小学校は、船津、府領辺りの子どもたちが



乙女小のシャトルバスを利用する児童

路線バスを利用して、登下校をしている。白旗も吉田、芝原方面において、新興住宅ができて、小さい子どもたちが増えている。町長と教育長にお願いできるなら、乙女小学校のように、親が安心できるように、路線バスを利用した登下校ができるようお願いしたい。

溜洩教育長 登下校中に路線バス、あるいはシャトルバス辺りの利用はできないかというお尋ねだと思う。学校は、子どもたちが一日の大半を過ごすところであり、安心して安全な環境であるということも言うまでもないことだと考えている。登下校中における、児童の安全管理確保のため、例えば、路線バスをスクールバスとして活用することについては、学校や保護者、あるいは、地域の方々やバス会社等の意見を十分聞かせていただながら、登下校時における児童の安全確保のための一つの方策として、今後、十分研究させていただきます。

※ その他に、大井手川の鯉の件、緑川への鮎の放流の質問があった。

宮本修治 議員



ろくじ館の運営と活用について

宮本議員

誰でも出品できる体制はできないかということのなかで、屋外テントでのイベントの実施などを提案してきたが、その後対応について伺いたい。本田産業振興課長 提案の件については、



ろくじ館

少し認識が違っていたところもあり、現在は、青空市場のイベントだけになっている。

会員以外の方々の販売については、農産物の安全性などを確保しながら、テントによる販売も、お年寄りの方等も含めたところでできないか、協議してみたいと考えている。

宮本議員

青空運営委員会以外に、新たに運営委員会を立ち上げることはできるのか。本田産業振興課長

テントでの販売とか、あるいは、自分たちがそこを管理して販売していくということについては、

可能と考える。

宮本議員

ろくじ館の利用については、地域再生計画を立て、利用目的を変更するように聞いていたが。

本田産業振興課長

違う目的に使うならば、地域再生計画を作成し、国との協議が必要となるが、現在のまま使う分については何ら支障はないということである。

宮本議員

特産品開発がされているが、地域再生計画を立て、ろくじ館の会議室を販売場にできないのかという提案もしていたが。

本田産業振興課長

特産品開発がまだ不透明なところもあり、地域再生計画は進めていない。宮本議員

特産品開発後のろくじ館の活用計画はどうなっているのか。

奥名町長

施設の運用については、もっと活用できるような方法を考える必要がある。今後出てくる加工場の問題については、施設の

利活用や宮内小学校跡地の利用などを含め、受け皿を考えなくてはならない。

今後のろくじ館の運営については、総合的に判断していきたい。

特産品開発に向けての取り組みは

宮本議員

特産品開発の当初計画の内容はどうなっているのか。

本田産業振興課長

本町にある地域資源を活かしながら、農業及び商工業の活性化や本町の町づくりにつなげることを目的に、平成21年度から23年度までの3か年事業として、専門業者へ委託をして取り組んでいる。

宮本議員

今の段階では、どの辺までの進捗でないといけないのか。

本田産業振興課長

平成21年度は地域資源の調査研究、22年度は特産品開発研究及びマーケティングの調査ということ



特産品開発のための試食会

とになっている。

しかし、現段階で特産品の試作品の数が少ないことや仕組み作りの面で少し遅れが出ていると認識している。

宮本議員

特産品開発事業の委託業者「ランドブレイン」の実績はどのようなものがあるのか。

本田産業振興課長

広島県世良町では赤梨ブランド、山形県では米沢牛の新商品開発の実績がある。

宮本議員

今、特産品開発はどの段階まで来ているのか。また、試作品としては、どんなものがあるのか。

本田産業振興課長

特産品の新規開発の段

階で、いま、アユを使ったそうめん、うどん、ニラを使ったあられ、ナタネを使った油などが試作品としてできている。

宮本議員

思ったより試作品も少ないし、事業としてあと1年しかない。今まで協議・審議してきた中、不安なところもあるのですが、もっと業者を指導すべきではないか。

奥名町長

若干遅れて、思っているような試作品の数ばかりではないが、業者の方もきびしく指導しながら来年度中にはきちんとした形で報告できるようにしたい。

山内 勲 議員



本町の活性化と振興策について

甲佐町住宅マスタープランに基づいて支援した開発団地の現況は

山内議員

人口増を図ることを目的とし、甲佐町住宅マスタープランが策定され、宅地開発、団地への支援、また、若者の定住促進助成事業を実施されてきた。そういった政策の結果、わが町の人口は減少していたが、最近になって、わずかではあるが人口増の傾向になってきた。これは、わが町にとっては、久々の明るいニュースである。



住宅が増える緑川団地

マスタープランに基づいて支援した住宅や開発団地の現況及び定住促進政策等について、答弁をお願いしたい。

8年度には「甲佐町開発行為等支援要綱」を制定している。また、平成12年度には、「甲佐町定住促進要綱」も制定し、子育て世代の住宅取得の支援を行うとともに、平成21年度においては、中学3年生までの医療費の無料化を実施している。

井上企画推進課長

開発の現状については、承認団地が、5団地で173区画、販売済み区画が117区画、残りが43区画となっている。

また、定住助成世帯は57世帯で、人口は216人となっている。

税収面の財政的なメリットは

山内議員

住宅団地が開発され、家が建ち、人口が増えるわけであるが、税収面のメリットについて伺いたい。

星本税務課長

固定資産税では、平成21年度中の新築家屋を基に、1棟当たりの税額を

算出すると年平均で約6万7000円となる。

町民税では、転入者の所得、家族構成で変動するが、平成22年度の平均を一つの目安とすれば、1世帯当たりの町民税は5万円ほどである。

町有資産の有効活用について

山内議員

甲佐町定住促進住宅「サンコーポラス甲佐」の現在の入居状況をお尋ねする。

西坂建設課長

甲佐町定住促進住宅「サンコーポラス甲佐」については、本年4月から共用を開始したところである。

4月の開始時点においては、全60戸中、44戸の入居であった。

指定管理者である熊本県公営住宅管理センター

入居募集の記事や町のホームページ、情報誌等への掲載により、毎月数戸ずつの入居があつてい

る。

11月末現在での入居者数は、52戸になっているが、まだ、8戸の未入居の部屋があるので、全室入居を目標に、指定管理者の熊本県公営住宅管理センターと協議をしながら、進めていきたい。

山内議員

この施設は、町が雇用・能力開発機構から購入したものであり、十分採算が合うような、管理運営が課題であると考え

この住宅を、賃貸住宅として考えてみた場合、その採算ラインについて、お尋ねする。

西坂建設課長

本施設の収入は、家賃収入、共益費、それに駐車場の使用料等の収益があり、金額としては、毎月平均して、約170万円程度である。

支出としては、指定管理料と、その他、諸々の維持管理料が毎月平均して、約80万円程度ある。

差し引き、約90万円が指定管理者から町へ送金



サンコーポラス甲佐

されてくるが、これは、1年間の見込みとして、1080万円の赤字と考えられる。

また、施設については、4月に約5700万円で購入しているが、耐用年数があと52年残っている。減価償却を計算すると、年間に110万円を減額していても、減価償却を含んだ収支計算は、年間970万円の赤字となるので、十分な採算が取れているということとなる。

なお、将来的に、大規模修繕も想定しておく必要があるため、約1000万円を特定目的基金として積み立てる計画である。

本田 新議員



議員行政視察研修について

本田議員

議員研修で、町の指定管理者制度を利用して特産品作りをしている女性団体の取り組みを視察した。

1人当たり年間20〜30万程度の収入ではあるが、生きがい作りの一環として、楽しみながら特産品を作っておられた。

本町でもこのような特産品作りを取り入れてみてはどうか。

また、現場に行っている分、いろいろ分かることもあるので、職員の研修についても考えていただきたい。

奥名町長

この団体は会員数が137名で、活気のある、



宮内地区活性化の拠点となる 旧宮内小学校

女性だけの組織であった。高齢者の方々にとつて、わずかな副収入であるが、生きがい作りという点では頑張っておられ、加工施設の充実も必要だと感じた。

本町では「ろくじ館」という施設があるが、更に充実させることも課題として検討したい。

職員の研修という点でも、机上の論理でわからない事も沢山あるし、生の現場を見ることによって町の活性化のために色々なアイデアに結びつくのではないか、という思いを持った。

本田議員

廃校舎をリニューアルした温泉付宿泊施設を視察した。

本町では、旧宮内小学校の廃校舎の利用が問題となっている。

宮内地区活性化委員会では色々な計画をされているが、設備投資や運営・維持費等を考えると厳しい現実が待っていると思える。

奥名町長

この視察した施設は、非常に経営的に厳しい面があるので、町から多額の委託費が支払われている。

確かにご心配の向きはあろうかとは思いますが、本町においては、組織としての受け皿作り、運営のあり方、それからどういう事をやるのかの考え方が大切だと思える。

宮内地区の活性化のためにそういう施設を作り

たいという思いを持っている。

町道山出県道線の早期着工について

本田議員

本町の重要な課題として田口橋の改修がある。

改修のために町道山出県道線を早期に改良し、そして県道へ認定させる。

そのうえで、田口橋の架け替えへと進める。

この三段論法でこの課題に取り組んで欲しい。

奥名町長

このご指摘の町道については、町の道路計画の中では骨格道路のBランクとして位置づけをしているし、県道御船甲佐線のパイパスとしての機能をも併せ持った路線というふうに考えている。

また、先日、用地承諾の同意書をつけた要望書も提出されているので、他の路線の進捗状況を見ながら本路線の着工を考えた。

プレミアム付き商品券について

本田議員

昨年度からプレミアム



町内で買い物をする！

付き商品券が商工会から販売されているが、行政ではどのように評価されているのか。

本田産業振興課長

プレミアム付き商品券が甲佐町の消費拡大の起爆剤になるように発行されている。

地区によつては購入比率に格差があるし、利用店舗については、6割以上が2つのショッピングセンターで利用されている。

また、登録店の意見として継続的に発行して欲しいとか、もっとアイデアを出して町の活性化に活かして欲しいといった意見も出ている。

町内の消費の呼び水として、少なからず貢献で

本田議員

本町には商業圏の違いというものがある。

そして商品券の発売は3年間と限定されている。本来の目的を達成するために、商業圏である美里町に目を向けたら、来年度以降も200万円くらい補助金を出して継続してはどうか。

奥名町長

商品券の発行は国の経済対策として始めたもので、現時点では23年度までの計画である。

事業効果や経済情勢を十分見極めたうえで、議員ご指摘の点については検討したい。

井 芹 しま子 議員



町中心部における浸水対策を急げ

井芹議員

平成18年・19年と立て続けに発生した集中豪雨によって、町内中心部も床上・床下浸水の大きな被害を受けた。

その後四年が経過しているが、今後も予想されるこうした被害からどう町民の命と暮らしを守るのか、一刻も早くその対策



町中心部における浸水被害

ため、根本的な調査事業を、近いうちに予算化したいと考えている。

国保の引き下げをすべきでは

井芹議員

策に全力を挙げるべきではないか。浸水対策が切なる願いとなっている。浸水常襲地帯である横田の町有住宅付近や岩下一・二区、緑町について対策を聞く。

西坂建設課長

平成18・19年の水害によって被害を蒙った岩下一区、緑町の「鮎緑」の入り口付近については床下浸水が発生しており、昨年、大井手川の越水対策として石を30cm積み上げた。

今後、表面水処理を町道東園西園線の改良工事において対応したい。

岩下二区の郵便局付近、横田の町有住宅付近については、その対策はまだ取っていない。

奥名町長

町全体の洪水対策については、根本的に考えなくてはならないと思っている。今後、内水処理対策の

税の推移を見ると、平成15年から税率は据え置いとおり、平成18年度以降、毎年赤字で推移している。税収も年々低下している現状では引き下げは難しい。

井芹議員

高すぎる国保税が払えない、また、ますます増え続ける無保険者、保険証がないために病院に行けず、病気が重症化し死に至ったなど、国保を巡る問題が多くの自治体で発生している。国保の場合での負担額は、40歳未満の夫婦に子供二人で所得200万円の場合、年額26万6940円になっている。

一方、役場職員の場合、300万円の収入での負担額は、16万2000円と国保と比べ大きな差があり、国保税の負担は大きい。

町民の健康を守る国保税の引き下げを検討すべきではないか。奥名町長 国保と他の保険との違いはあるが、本町の国保

町営住宅建設はより多くの町の業者で

井芹議員

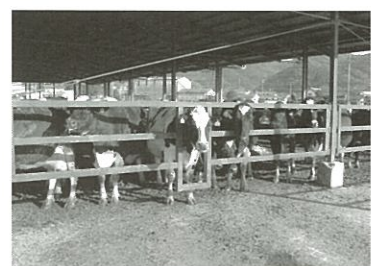
以前も、老朽化した町営住宅は立て直すべきだと質問してきたが、今回の町営住宅の建設総事業費は、予定では13億円に

なる」と説明をされた。この事業については、町の活性化、地元業者育成につながる取り組みにすべきだと思うが。奥名町長 今日、厳しい状況を鑑み、また、地元企業育成といった見地から、可能な限り地元で対応していただきたいという考えでいる。

TPP問題で町は反対の姿勢を示せ

井芹議員

TPPは、関税を原則撤廃し、農産物の完全自由化をするもので、日本農業と農業を基幹産業とする地域経済を破壊するものである。このTPPの町に与える影響はどうか、また、町長は国に対して明確な反対の意思を示すべきではないか。本田産業振興課長 国の試算によると、国内農業生産額は48・4%の減少、自給率は40%から14%に減少すると試算



TPP参加による影響は！

をしている。県においては、37・6%の生産額の減少になると試算しており、本町独自の試算では、生産額の32%が減少すると考えられる。奥名町長 TPPは原則として、関税の例外なき完全撤廃であり、特に農林水産業の崩壊につながりかねない。本町の基幹産業への影響も甚大であり、現時点でのTPPへの参加検討は、時期尚早であり撤回すべきだと考えている。なお、国へは、11月9日付けで上益城郡内の各町長連名により、こうした点に立っての緊急決議文を衆議院議長ほか宛に提出をさせていただいた。

渡邊 俊一 議員



観光振興について

渡邊議員

母なる川、緑川と共に甲佐町は発展しているが発信されているが、町づくりのなかで緑川についてはどのように取り組んでおられるのか。

奥名町長

緑川を本町の観光に結びつけた事業としては、まず観光施設で言えば、代表的な施設である「やな場」、それから自然体験施設の「川平キャンプ場」や「井戸江峡キャンプ場」がある。

また、川遊びやバーベキューが楽しめ、町内外にも非常に人気がある

「中甲橋グリーンパーク」や「津志田河川自然公園」などもある。

その他、スポーツレクリエーション施設としてはグリーンパル甲佐がある。

この河川敷にある施設については、管理委託等により施設の維持管理を行いながら、観光客の誘致に取り組んでいる。

渡邊議員

本町の観光を考えたとき、緑川と共に発展するような何かができないかと考える。そのうえで、観光案内



やな場の改修と県道の工事

として見たとき、例えば、「川の駅 乙女河原」や「川の駅 井戸江峡」など、印象に残る名前や地名を付けるといって、「川の駅構想」について、町長の考えは。

奥名町長

現在、「やな場」の改修に着手している。

更に、県道三本松甲佐線の豊内バイパスの工事にも着手され、大型バスの乗り入れも可能になる。

今後は、冬場の利活用についても検討するならという思いも持っているし、その他にも、鶴の瀬や甲佐神社もあるので、旅行会社と連携した広域的な観光ルートにのせた



大井手川の水車

ツアーを考えてみるならいいと思っている。

それから、ネーミングによる付加価値を付けるという取り組みについても、検討したい。

大水車構想について

渡邊議員

やな場や乙女河原には大勢の人が来るが、商店街との接点がない。

以前、やな場や大井手川に大水車を5機ぐらい作り、水車による発電を考えるならと言ってきたが、改めてこのことについて町長にお尋ねしたい。

奥名町長

町外、県外から観光客

を呼び込むためには、まずは、もてなしといったソフト的な魅力が必要ではないかと思っている。

現在、あゆ祭りのなかでも、今回新たに竹明かり等について工夫をした所であるが、水車を建てることについては、商店街の皆さん方と色んな意見交換をしながら、また、工夫を凝らしながら、検討していったらどうかと考えている。

川の博物館構想について

渡邊議員

商店街の大井手川の中に、緑川にいる全ての種類の生物等を集め、「川

の博物館」として作っただろうか。

全国のどこにもない、甲佐町にしかないことをして、初めて魅力ある甲佐町になると考えるが、町長の考えを伺いたい。

奥名町長

淡水魚の水族館等については、調べた所によると宮崎県の高千穂町に町営で設置をされ、運営をされているようである。

また、淡水魚の博物館の建設については、以前、水辺プラザ構想の中で取り上げられていたが、建設費用に対する対応等も必要であり、今の所そういった建設の計画はない。

渡邊議員

甲佐町を考えた時、緑川と共に発展し、商店街と共に甲佐町が発展する誇りの持てる故郷、甲佐町を作っていたらいいかと強く願っている。

町の財政状況は大変厳しいと思うが、将来の甲佐町を思い考えると更に努力していただき、計画を実施されるよう要望したい。

子ども議会を終えての感想

前号でもお知らせしていましたが、昨年の10月18日に開催された、甲佐中学校の生徒18名と町執行部による「第2回子ども議会」の感想文が届きましたので掲載します。



3年 芳野 凌一

僕は甲佐町子ども議会で質問のトップバッターとして、「通学路に街灯をつけて欲しい」ということで質問を行いました。初めての子ども議会で、しかも1番最初の質問者ということで、とても緊張しました。

しかし、それまでに家で練習したり、議場でリハーサルをしたりしていたので、つかえたりすることなく発表することができたので、その点はよかったです。

終わって感じていることは、町当局の方々はいろいろと深く考えていらつしやるのだなあということだと思います。

僕たちのさまざまな質問にも詳しく返答をして頂き、行政の方々の思いなどもよくわかりました。

今後もこの取り組みを続けてもらい、僕たち子どもの疑問や要望に応え続けてもらいたいと思います。ありがとうございます。



2年 梅本 祥太

僕は「子ども議会」に今年初めて2年生で参加させてもらい、とても良い経験をしたと思います。

議会当日までに、議場でのリハーサルや、学校での打ち合わせ、家での発表練習等、かなりの時間を使ってしっかり準備をしました。

そして当日を迎えました。

大変練習をしたのですが、会場の議場に入ると緊張し、発言の時の声が小さくなってしまいました。

今回のこの貴重な体験で僕が学んだことは、意見や考えを相手に伝わるように理由や根拠をはっきりとさせて、堂々と伝えることです。

今回はおとなの人を相手に、質問を発表しましたが、これからこの経験を役立てるようにしていきたいと思えます。

町当局の方々には、僕たちの質問に真剣に答えてもらいありがとうございます。



3年 北野 裕人

僕はこの甲佐町子ども議会に参加ができてとても良かったと思いました。

甲佐町の将来のことについて考え、町当局の方へ質問をすることができました。僕に質問の順番が回ってきた時、思い切って大きな声で質問し、さらに勇気を出して2回質問をしました。

町長さんをはじめ各課長の皆さんに答弁してもらい、嬉しかったです。ありがとうございます。

議場に生まれて初めて入り、とても良い経験となりました。

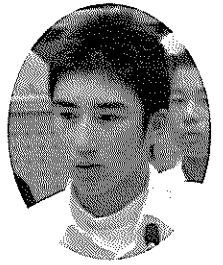
未来の甲佐町のことを思って、僕たちにこのような機会を設けて頂いたことに感謝しています。

甲佐町にはいろんな良い点がありますし、僕たちにとつてかけがえのないふる里として胸を張れることがいっぱいあります。

しかし、問題点がないわけでもありません。僕は、子ども議会を通じ、それまでに持っていなかった多くの考えを持つことができました。

この議会を開くために準備していただいた方々に感謝しています。

僕も未来の甲佐町のために全力で頑張ります。



3年 甲斐 元貴

今年度も、僕たち甲佐中学校の生徒のために、子ども議会を開いて頂きありがとうございます。僕は子ども議会を経験して、よりよい甲佐町づくりのためにリードされる方々のお仕事の重要性和大変さを知りました。

僕たちは昼休みや放課後の時間を使って、みんなが暮らしよい町づくりのため、いろいろな意見を出し合い考えました。また、発表の練習もリハーサルを何度か行い準備をしました。

準備万端で臨んだ本番の議会でしたが、いざその時になってみるととても緊張しました。

僕は一生懸命になって質問をしました。町の方の答弁に対して、頑張ってくいさがり、再々質問を行いました。

終わってから議長さん方から誉めてもらいました。感じたことは、生徒の質問に対し町長さんをはじめとして、どの方も親切丁寧に回答をくださったという事です。

昨年から始まり今年が2回目ですが、こうした機会が甲佐町にあるという事はすばらしいことだと思います。めったに入ることのできない議場という場で、大人の人たちを相手に正々堂々としたやりとりが出来たということは、僕自身大きな自信となりました。

一生忘れることのできない貴重な経験をさせてもらい本当にありがとうございます。



3年 赤星 恵利香

私が子ども議会に参加して感じたこと、それは甲佐町の役場の方々は町民のために日々考え、行動していらっしゃるということです。

中学校では毎年5月に、生徒総会を開きます。その会の目的と、この議会とは大変に似ていると感じました。生徒総会で、みんなの生活のことを考えることはとても難しいと思いましたが、今回の子ども議会でも同じように思いました。

私は今回、宮内地区の活性化について、質問をしました。

今、道路が広くなったり、堤防が出来るなど、少しずつよくなっていると思います。それも役場の皆さんのおかげだと思います。

今年をはじめ子ども議会に参加しましたが、この体験をこれからの生活に役立てられたらいいなと思います。

リハーサルから子ども議会当日まで、いろいろお世話になりました。今後もこの貴重な体験を忘れないうようにして、生活に役立てていきたいと思っています。ありがとうございます。



3年 高崎 真帆

今回、甲佐町子ども議会に参加させていただいて、貴重な経験をすることができました。

私は「通学路の除草」のことについて質問しましたが、本番ではとても緊張しました。

通学路の道沿いの草がとても伸び危険な所があるため、除草を短い周期で行っていただけないか、要望をしました。

返答は、県道のため県が管理しており、除草も県から業者に頼んでいるため、町で処理するのは難しいとのこと、町から県へ頼んでみるということでした。

丁寧に返答していただいて、よかったです。

私は今回で2回目の参加でしたが、とても貴重な経験になりました。このような機会を設けて頂いたことに感謝しています。



3年 山本 阿結子

甲佐町子ども議会に参加させて頂き、ありがとうございます。ありがとうございました。

私は今回の議会で「甲佐町に気軽に子どもが遊べる公園を造れないか」という質問をしました。

回答は「造れない」とのこと、少し残念でしたが、私の気持ちが町当局の皆さんに少しでも伝わったかと思うと大変嬉しかったです。

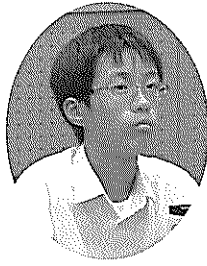
今回子ども議会に参加したことで、町当局の方々が町づくりについてどのようにお考えなのか、また町をどうしたいと考えていらっしゃるのかを、少しわかることができました。

そして私たちの思い通りにはいかないこともわかりました。

私にとって子ども議会は、甲佐町のことを考える大切な機会になったと思います。

質問する時はとても緊張しましたが、自分の意見を相手にきちんと伝える大切さも感じました。一生に一度の大切な思い出になりました。来年も、この子ども議会をぜひ行って欲しいです。そして私の感じた思いを、みんなに感じて欲しいです。

今回は本当にありがとうございました。
甲佐を担う一人としてがんばります。



3年 岡田 裕介

今回の子ども議会への参加にあたって、原稿を作るのが一番苦労しました。

というのも、自分のつくった質問原稿で、町当局の方々に伝わるのかとても不安だったからです。

事前に議会の傍聴に初めて行った時、僕は質問と答弁の繰り返しに大変驚きました。

子ども議会が近づき、リハーサルの時、僕は質問原稿をうまく読めませんでした。しかし、本番では練習の時に比べるとうまくできました。

町当局の方の答弁は、僕の質問に対し「なぜ、こうしているか」を具体的に話されて、とてもわかりやすかったです。5分間の発表でしたが、とても緊張しました。しかし実際の議会では一人1時間の時間が使われていると聞き、驚きました。

今回のこの経験を通じ、町当局の人も議員の人も

町のためにいろいろな案を考えていることがわかりました。僕もこれから少しでも町に役立てるような活動に参加したいと思いました。

また、身近なところでの活動として、甲佐中学校での生徒会活動や委員会活動に改めて頑張ろうと思いました。

今回は貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。



2年 伊藤 大世

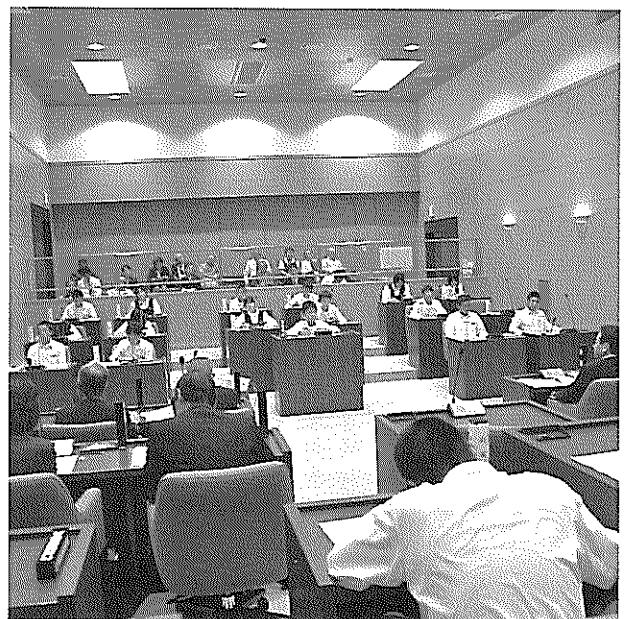
子ども議会の準備では、質問を考えることが一番苦労して、そして一番頑張りました。

リハーサルの時も議場に入りましたが、本番では全く空気が違いました。

それぞれ指定された席に着き、順番に質問をしていきました。

僕は、道路のことで質問をしましたが、町当局の方から甲佐町には、国道1本、県道8本、町道152本、計161本の道路があると聞き、驚きました。そして道路をつくるにあたって、歩行者に優しい道路をつくることに心がけていらっしゃることを知り、ありがたいと感じました。

これから、自分たちの生活の中で、それらのことに感謝しながら生活していきたいと思っています。



2年 太田 幸志郎

僕は子ども議会に向けて、一般質問の練習を頑張りました。リハーサルの時、何回もことばをつかえさせてしまった上、声も小さくなり、ボロボロでした。

だから、家に帰って本番まで1日3回、発表の練習をするようにしました。

その成果か、当日ではリハーサルの時よりもずっと良い発表ができました。

僕が子ども議会を通して学んだことは、「どんな不慣れな場所でも、自信を持って発言する」ということです。

これから子ども議会の体験を、甲佐中学校での授業や生活の中で役立てていきたいと思えます。



3年 林田 健成

僕は甲佐町子ども議会で2つの質問をしました。

一つめは、「黒板をホワイトボードにできないか」ということと、二つめは、「学校にあるストローを新しいものに替えてほしい」ということです。

一つめの質問に対する答弁では、利点としてホワイトボードは粉が飛ばないとか、簡単に消すことができる等があるけれども、欠点も多いことを具体的に話されました。僕はその答弁によって、中学校では適当でないことを理解しました。

二つめのストローに関する質問では、「まず点検整備を行い、異常がみつかれば新しいものに買い換える」という答弁でした。

僕はこの子ども議会を通じ、実際の町の運営がどのように行われているかを知りました。きっと一生懸命に出ていることだと思えます。貴重な経験を、これからの日々の生活に役立てていきたいと思えます。



3年 上原 世那

私は、昨年到现在2回目の参加をさせていただき

ました。

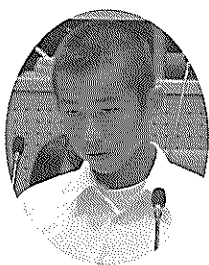
緊張は昨年と同じようにしましたが、昨年よりも話をしっかり聞くことができました。

私がした質問は「もつと甲佐町をPRしてほしい」という内容でしたが、それに丁寧に答えてもらいありがとうございました。

議場のとても厳肅な張り詰めた雰囲気の中で発言させてもらうことは、これから私の一生の中ではないことだと思えます。甲佐町の中学生の一人として、その経験ができたことを大変光榮に思います。

町当局の皆さんは、私たちのためにたくさん時間を費やして頂き、ありがとうございます。

この子ども議会は、大人と子どもが町づくりについて、対等に話が出る貴重な重要な場所なので今後も続けていってください。本当にありがとうございました。



3年 渡辺 大貴

甲佐町子ども議会に参加して思ったことは、3つあります。

一つめは、傍聴席で聞いているのと、実際に議席に座るのでは、緊張感が全く違うということです。ほくは、とても当日議員席に座って緊張しました。

二つめは、町当局の皆さんは僕の質問にわかりやすく答えてくださったので、質問したことが実現しにくい理由や実行されない訳がよくわかりました。

三つめは、リハーサルの時、つまったり失敗した

りしたけど、本番ではうまく言うことができたのでとてもうれしかったです。

今回はこのような機会をつくってください。ありがとうございました。



2年 梅本 龍太

初めての子ども議会への参加に向けて、僕は町当局の方に伝わるように事前の準備に頑張りました。

子ども議会前に、本物の議会を傍聴に行った時は「議会って、こんな感じなんだ!」と驚きました。リハーサルの時に実際の議場で発言席に立つて読む練習をしましたが、リハーサルでもとても緊張し、「当日は大丈夫かな?」と不安がよぎりました。

当日、僕たちが議場に入る時には、すでに行政の方々が全員議場に座っていらっしやっとても緊張しました。

一般質問の時はドキドキしながらも落ち着いて質問することができました。

町当局の方々は、僕たちの質問に丁寧にそしてわかりやすい答弁をして頂きました。議会では、甲佐町をより良い町にするために、さまざまな点から話し合いを行い、たくさん工夫されていることを知りました。凄いなと思いました。

この子ども議会を通して、僕は学校生活でも正々堂々と自分の意見をはっきりと言うことが大切だと感じました。

これから僕は、自分たちの生徒会活動において「自分は生徒会の一員なんだ。」そして「リーダーで

もあるんだ。」という自覚を持って、さまざまな行事に臨んでいきたいです。



2年 志免 典佳

子ども議会で、私はとても良い経験をする事ができました。

最初は、子ども議会がどんなものなのか分からなかったけど、経験してみても町の政治の仕組みなどいろいろなお話がわかりました。

子ども議会の準備では、自分の考えを文章にまとめるのにも苦労しました。そしてリハーサルで初めて議場で声を出した時には、大変に緊張しました。そのリハーサルのおかげで、本番ではそれほど緊張はありませんでした。

今回の子ども議会で私が一番学んだことは、町を運営することの大変さです。町の課題や町をさらに一層良くするために、いろいろな案や対策を考え、それに予算をつけ、一つ一つの事業を実施していくまでには大変な苦労があるのがわかりました。甲佐町をより良い町にしていこうと努力されている姿勢は尊敬します。

これから私は、今回学んだことをより良い学校づくり、そしてより良い甲佐町づくりに役立てていきたいと思っています。

今回は、私たちの質問に答えてくださってありがとうございました。



2年 永田 美智



子ども議会に参加するにあたって、とても準備が大変でした。

「どのような質問をすればよいか」、「どのくらいのスピードで原稿を読めばよいか」など、わからないことばかりでした。

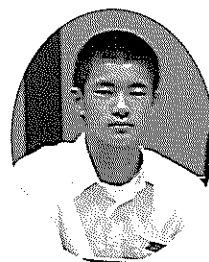
事前に議会を傍聴しに行った時、「この場所で発表するのか・・・」と、とても緊張してしまいました。

リハーサルの時、議場の質問者席で発表した時は、緊張してとても早口になってしまい、たくさんつかえてしまいました。

そして本番を迎えました。私は一番最後の質問者になっていたのですが、その間「つかえないかなあ。

ゆっくり話せるかなあ。」と、とても心配でした。名前を呼ばれ、返事をし、質問者席に行きました。緊張していたので、つかえたかとか、ゆっくり話せたかとかはわかりませんでした。しかし終わってからは、達成感がありました。

これからは、この経験を活かし、人前でも自信を持って話せると思います。子ども議会に参加してよかったと思いました。



3年 皆本 凌太

甲佐町子ども議会に参加した感想には、大きく二つのことがあります。

一つは、子ども議会前夜、とても緊張して眠れなかったこと。その結果僕は議長をしながらも、少し眠気がさしてしまいました。けれどもその眠気をかみしめて、議長としての役割はどうか果たすことが出来ました。

二つめは、町当局の方々が僕たち中学生の質問にとても丁寧に返答してくださったことです。例えば最初の質問で「通学路に街灯を」と僕の友達が質問しましたが、その返答はとてもわかりやすいものでした。ありがたかったです。

とても貴重な経験にこの子ども議会はなるので、これからも続けていってほしいと思います。今回は本当にありがとうございました。



3年 田上 美咲

子ども議会に参加させていただき、ありがとうございました。今回とても貴重な経験をさせていただきました。

生まれて初めて議会を傍聴した時には、私は議長や副議長の役がやれるのか不安になりました。

けれど、リハーサルや本番が近づくと、不安とともに緊張が高まりました。

しかし、議長席に座り、原稿を読み始めると、その緊張も少しずつやわらいでいきました。

町長さんや町当局の方々に前になると、とても気が引き締まりましたが、本番当日、どうにかやり遂げることができました。

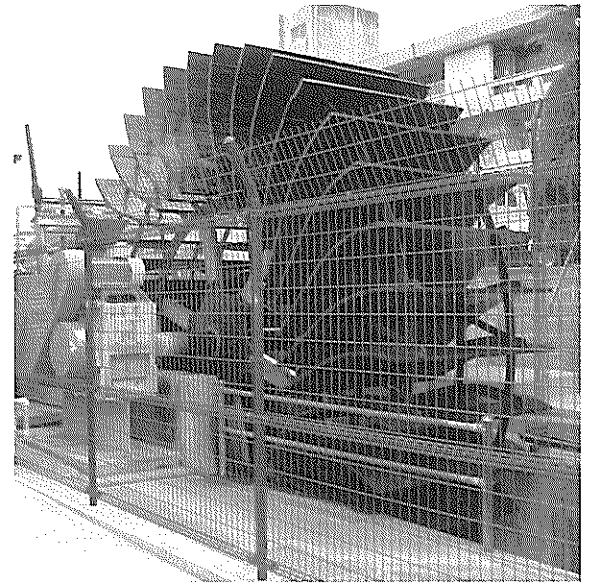
私にとって、とてもよい経験でした。ありがとうございました。これから私も、甲佐町の住民の一人として、より住みやすい町づくりに頑張っていきたいと思います。

議員行政視察研修報告について

本町議会では、10月27日から29日までの日程で、山梨県の三か所を視察研修しました。

一か所目は、近年、温暖化対策への取組みが推進されるなか、本町の大井手川において設置可能な、水車を使った小水力発電所を視察しました。

この施設は、名称を「元氣くん1号」といい、都留市役所と隣接の小学校との前を流れる川に設置さ



水車による発電施設（都留市）

れ、最大で20kWの発電能力のある直径6mの木製水車です。

事業費は、総額43,374,450円で、財源としては、新エネルギー・産業技術総合開発機構からの補助金15,166,000円、市民参加型ミニ公募債（つるのおんがえし債）17,000,000円及び市の一般財源11,208,450円となっております。特にミニ公募債でのやり方は参考となりました。また、発電した電気で、市役所の電気使用量の約15%を削減しているとのことでした。

二か所目は、特産品開発関連で南アルプス市の「アヤマの里活性化施設 ほたるみ館」を視察しました。

この施設は、旧榎形町において、中山間地域総合整備事業により平成11年度に完成した施設です。

現在は、「南アルプス特産品企業組合」（会員137名）を設立し、市の施設である、加工施設「ほたるみ館」と販売施設「まちの駅 くしがた」の指定管理者となっています。

地元産の果実や野菜を使った手づくり加工食品である、さくらんぼのほか、全部で11種類のジャムと味噌を山梨県の認定食品として位置付けるとともに、漬物、惣菜、お菓子、アイスなどを町の特産品として販売されています。

地域の振興や自己所得の向上を目指して活動されているこの組合は、会員の規模なども含め、本町の「ろくじ館」の青空市場と同規模であり、施設の運営方法及び町の特産品開発等にも参考となりました。三か所目は、指定管理者等の関連で町の元中学校の校舎を利用した、温泉宿泊施設「ヘルシー美里」を視察しました。

早川町は、面積370km²で森林率96%、人口約1,300人の日本一、人口の少ない町です。

この施設は、平成元年に温泉掘削を行い、平成2年に校舎を宿泊施設に改装。

平成3年に近隣の住民から組織する「光源の里協会」の運営による利用を開始されました。

その後、指定管理者制度の導入により、現在の「株式会社 生態計画研究所」へ管理が移行しています。事業概要については、町から指定管理料として850万円が支出され、「ヘルシー美里」と「野鳥公園」を拠点に、「南アルプス生態邑」として、人と野生生物のつながりをテーマにした活動及び管理運営をされています。

課題として、現在の利用状況が、ピーク時の半分以下となっていること、また、現在、地元からの雇用が1名ということや多様な用途を持つ施設の老朽化によるメンテナンス等を挙げられていました。

本町も、旧宮内小学校跡地について、あるいは、グラウンドゴルフ場やキャンプ場など、今後、管理も含め実際にどういった活用をしていくのか、多くの参考にする点があったと考えています。



元中学校の校舎を利用した温泉宿泊施設
「ヘルシー美里」(早川町)

平成22年第2回臨時議会

平成22年11月22日に、平成22年第2回臨時議会を開催した。

- 甲佐町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
賛成多数で可決した。
- 町長等の給料及び旅費に関する条例等の一部改正について
全会一致で可決した。
平成22年度甲佐町一般会計補正予算(第4号)
115万2000円を増額し、歳入歳出予算の総額を49億3237万3000円とする補正予算を全会一致で可決した。
- ・新型インフルエンザワクチン接種費補助金
115万2000円
- 「TPP交渉参加反対」に関する意見書提出の緊急要請書について

上益城農業協同組合の梅田 穰代表理事組合長から提出されたこの要請書は、全会一致で採択し、衆参両院議長及び関係各大臣宛の意見書提出についても、原案のとおり可決した。

平成23年第1回臨時議会

平成23年1月7日に、平成23年第1回臨時議会を開催した。

- 財産の取得について
町営住宅建設用地の取得について、全会一致で可決した。

所在地 甲佐町大字大町字川久保120番1
甲佐町大字横田字丸山723番1

面積 8019.82㎡

相手方 東京都千代田区神田和泉町1番地
YKK APエクステリア株式会社
代表取締役 中村 常彦

取得の予定価格 3239万4000円

○平成22年度甲佐町一般会計補正予算(第6号)
国からの、きめ細かな交付金・住民生活に光を注ぐ交付金8058万3000円を財源として、1億411万3000円を増額し、歳入歳出予算の総額を53億1051万円とする補正予算を全会一致で可決した。

- その主な内容として、
- ①町営住宅管理費 1116万5000円
 - ②内水被害調査事業委託料 1300万円
 - ③龍野、乙女、白旗小学校の
屋上防水・外壁改修等工事費
6341万円

編集後記

平成19年3月議会から、現スタッフ5名で議会だよりを作り始めて、数えて16回発行しました。

読者の皆様の満足のうち、反省する点多々あったと思えます。平成23年3月より、新しい議会議員による広報に期待をし、最後の締めくくりとします。ありがとうございます。

本当に、4年間の月日の早さを感じます。これまで、読者の皆様に親しまれる紙面づくり、そして何より、議会広報の使命である議会、議員の活動をお伝えすることに重点をおいて努力してきました。

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 本田 新
 - 副委員長 本郷 昭宣
 - 委員 緒方 哲哉
 - 委員 宮川 安明
 - 委員 井芹しま子



今年も健康を祈って！(1/10東寒野どんじや)